



閉じこもりによる寝たきり予防や自立した生活を支援し、高齢者が介護を必要とする状態にならないように努めます（先月13日の町老人クラブ連合会ゲートボール大会）

介護保険のサービス量の見込み

●法定サービス

▽居宅での生活で、支援を必要とする人や介護を必要とする人は、介護支援専門員（ケアマネジャー）による居宅介護サービス計画（ケアプラン）の作成が必要です。本町では、ケアプランを作成する場から、現在の介護支援専門員の人数から、十分に対応できるものと見込んでいます。

▽「訪問看護」「訪問入浴介護」「通所介護・通所リハビリテーション」「訪問介護」はサービス供給が十分見込まれていますが、「短期入所生活介護・療養介護」は、一

時的に供給不足が見込まれることから、需要の動向を見ながらサービス量の確保に努めます。

●法定施設サービス

▽介護保険施設として「特別養護老人ホーム」「老人保健施設」「介護療養型医療施設」の三つがありますが、これらの施設では介護支援専門員が施設介護サービス計画を作成し、計画に従って介護サービスを提供します。

自立可能な高齢者などへの支援

●自立可能な高齢者への支援

▽一人暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯は閉じこもりがちになり、これが寝たきり状態になる要因と考えられています。閉じこもりによる寝たきり防止や自立した生活のための支援策として、生きがい活動支援通所事業（お座敷広場）や生活管理指導員派遣事業、健康教室、給食サービス事業などを行い高齢者が介護を必要とする状態にならないように努めます。

●痴ほう予防と痴ほう性高齢者への支援

▽痴ほう予防教室を開催し、痴ほう傾向のチェックを行い生きがい活

各種サービスの需要に対応するため、関係事業者と協力し供給量の確保に努めます（介護老人保健施設「シーサイドかる」での歌手による慰問の様子）



動支援通所事業などの生きがい・健康づくり事業の参加を促し、痴ほうの予防を図ります。

▽痴ほう症や老人性うつ病などの精神的な症状の発生に対応し、専門医師による相談・助言体制の整備を進めていきます。

▽痴ほう性高齢者がいかにいたした際の事故防止のため、早期に見てくれるシステムの活用を検討します。

●高齢障害者への支援

▽高齢障害者が自宅で安全に自立した生活が継続できるよう、住宅改善の支援に努めるとともに、社会参加活動ができる支援体制の環境整備を推進します。

家庭介護教室を開催 介護方法などを学ぶ

山田町在宅介護支援センターでは、家庭介護教室を開催します。家庭での介護方法などについて学びませんか。参加を希望する方は、直接、会場へお越しください。

▽日時 六月十三日（金）

午後一時半～三時半

▽場所 町保健センター和室

▽内容 転倒予防や足浴の仕方の実技、福祉用具の展示、介護に関する相談など

▽持ち物 バスタオルとフェイスタオル各一枚

▽問い合わせ 山田町在宅介護支援センター（☎八二一〇五一五）へどうぞ。



昨年12月に行われた「ボランティアプラザ・ふれあい交流」で介護の方法を学ぶ豊間根中学校の生徒